

令和7年9月9日

かほく市議会議長 金子 猛 様

予算決算常任委員会委員長 丸井 一範

令和6年度決算に係る議会による行政評価の結果について

標記の件について、総務建設分科会・教育福祉分科会において審査が終了し、8月29日に開催した予算決算常任委員会において、各分科会長の報告、質疑を経て、議会による行政評価を取りまとめたので報告いたします。

令和 7 年 8 月 2 9 日

予算決算常任委員会

委員長 丸井 一範 様

予算決算常任委員会

総務建設分科会長 池田 義治

議 会 に よ る 行 政 評 価 報 告 書

総務建設分科会における審査が終了しましたので、「令和 6 年度決算に係る議会による行政評価」を添付の上、報告いたします。

記

1. 審査期日 : 6 月 19 日 審査対象事業決定

7 月 28 日 現場視察

①いずみ団地外壁等長寿命化改修工事

②高松運動公園都市災害復旧工事

③令和 5 年 7 月 12 日～14 日発生梅雨前線豪雨災害復旧工事（柿団地）

④6 災 4551 号市道長柄町 1 号線道路災害復旧工事

⑤中沼配水場機械電気設備工事・機械設備工事・場内配管布設工事

⑥南部浄化センター

7 月 28 日 産業建設部

（都市建設課、農林水産課、上下水道課）

総務部

（総務課、情報推進課）

7 月 29 日 地域政策部

（企画課・地域創生課・市民生活課・防災環境対策課）

7 月 30 日 審査対象事業の分科会まとめ

2. 審査方法 : これまでの「議会による行政評価」は、創生総合戦略推進計画の「事業成果個票」を活用し、議会として審査し、改善・拡充などの提言を行っていたが、今年度からは、すべての事業を審査対象とし、事業の抽出を行い実施した。

審査については〔必要性〕〔妥当性〕〔費用対効果〕〔成果〕を主眼に置き、執行部が作成した資料に基づき行政評価を実施した。

3. 審査結果 : 【個別事業】における今後の方向性について

【個別事業】

○公営住宅維持管理事業（都市建設課）

- ・合併後、新規の公営住宅は建設されていないが、今後の高齢化社会に対応した住宅のバリアフリー（エレベーター）が整備された住宅の整備を検討すべきではないか。
- ・住宅の老朽化を見越し、早期の対策により改修費用の軽減を図るべきではないか。

○担い手育成基盤整備事業（繰越・事故繰越分含む）（農林水産課）

- ・農業者の高齢化は、深刻であり、農地の集積・集約化だけでは限界がある。昨今のコメ不足などを考えても、様々な対策が必要と考える。これは、市独自でできるものではなく、各種団体とも連携を図りながら取り組んでもらいたい。

○下水道事業費（上下水道課）

- ・今後、可能な限り経費の節減に取り組み、料金を改定する際には、市民の理解を得る努力をお願いしたい。
- ・上下水道施設の老朽化等により、事故の懸念がある。国に財源措置を含めた対策を関係団体とも連携しながら求めていくよう望むものである。

○ふるさと納税寄附金事業（総務課）

- ・特産品は、季節により片寄る傾向があるので、全国での先進的な取り組みを調査し、年間を通して安定的に出せる返礼品の拡充に期待するものである。
- ・ふるさと納税は、市の知名度向上にもつながり、さらなる拡充を期待する。

○行政デジタル化推進事業（情報推進課）

- ・基幹系のシステムの標準化においては、自治体独自のサービスの提供等に影響がないように進めていただきたい。
- ・デジタル化の推進により、市民サービスのさらなる向上、職員の負担軽減につながる業務改善に取り組んでいただきたい。

○ケーブルテレビ事業（繰越分含む）（情報推進課）

- ・災害時のケーブルテレビによる市民への緊急放送について、充実・強化に努めていただきたい。
- ・スマホ等による動画視聴等により、若者へのケーブルテレビの視聴は難しいが、ターゲットを絞ったコンテンツの工夫などを期待する。
- ・自主チャンネルのさらなる魅力ある番組になるよう努力を求める。

○企画調整事業（企画課）

- ・総合計画は、市としての最上位の計画であり、非常に重要な計画である。アンケート結果や課題を洗い出し、的確な計画策定を願う。

○定住促進事業（地域創生課）

- ・定住促進施策により全体では人口増となっているが、金津小学校、大海小学校校区は減少しており、地域の均衡な人口増施策の検討を願う。
- ・市内企業に勤めている方の奨学金支援制度のPRの充実を願う。

○地域振興事業（地域創生課）

- ・引き続き、「とり野菜みそブルーキャッツアリーナ」や「かほつくる」などの施設を活用した、賑わいの創出を期待する。

○商工業振興対策事業（地域創生課）

- ・商工業振興助成事業補助金のPRの拡充を求める。
- ・県内では企業撤退による補助金の返還等が問題となっている。市の制度においても対策は必要ではないか。
- ・市内企業の増設等は、雇用にもつながり、継続した取り組みを期待する。

○市民相談事業（市民生活課）

- ・人権意識の向上は大切であり、今後も継続して取り組みを求める。
- ・ヘイトスピーチ（人種、民族、宗教、性別など、特定の属性に対し、個人または集団を攻撃、脅迫、侮辱する発言や言動のこと）対策の取り組みを求める。
- ・振り込め詐欺等の防止のため、周知活動を含めた、対策強化を求める。

○消費生活支援事業（市民生活課）

- ・引き続き、消費生活サークルひだまりと連携し、効果的に取り組んでほしい。
- ・振り込め詐欺等も増加傾向であり、若者への啓発を含め、継続的な取り組みを求める。

○交通安全対策事業（防災環境対策課）

- ・交通安全施設（カーブミラー・路面標示等）は大変重要であり、引き続き、町会区と連携を図りながら地域の要望に対応することを求める。
- ・運転免許自主返納者への対策強化を求める。
- ・防災・環境アプリの「住民レポート」の機能を広く市民に周知し、市民からの道路・交通安全施設等の問題点を投稿していただけるよう積極的に周知するよう求める。

○カーボンニュートラル推進事業（防災環境対策課）

- ・持続可能なエネルギー、地球温暖化防止に資する取り組みを強化し、市民の環境に対する理解と行動変容につながる新たな取り組みを求める。

○ごみ減量化推進事業（防災環境対策課）

- ・ゴミステーションの設置されていない地域やアパートなどで、鳥などにより荒らされ、悪臭などの苦情を聞く。設置率 100%を目指し、ゴミステーションへの移行、対策を推進してほしい。

○塵芥収集事業（防災環境対策課）

- ・ごみの円滑な収集運搬は、非常に大切であり、委託料の増加を抑制するため、戸別収集地区のステーション化への移行や効率的な収集体制の見直しを求める。

4. まとめ

総務建設分科会では、今回審査した内容は、部局横断的な取り組みが必要なデジタル化による市民サービスの向上・行政事務の効率化、市民生活に直接関係する事業、定住促進事業、企業誘致等幅広い審査となった。これまでの取り組みを評価するとともに、今後の事業展開にも期待するものである。

農業関係施策については、後継者不足が課題となっているとのことであり、作業負担の軽減になるような施策や取り組みにより、新規就農者が現れるような取り組みなど、継続して営農ができるよう新たな取り組みを期待するものである。

定住促進施策については、かほく市全体では、人口も増えており大変評価しているところであるが、人口が急増している地域、人口が減少している地域もあり、それぞれに新たな課題が出ている。均衡な人口増施策の検討を願うものである。

最後に、引き続き各種事業の創意工夫に期待するとともに、課題解決に向けた取り組みを検討するなど、時代に即した柔軟な発想と積極的な対応に期待する。

以上

予算決算常任委員会 総務建設分科会
《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

審査対象事業

No.	担当課	事業名	全体評価 合計	今後の方向性
1	都市建設課	公営住宅維持管理事業	80	現状のまま継続する
2	農林水産課	担い手育成基盤整備事業（繰越・事故繰越分含む）	70	現状のまま継続する
3	上下水道課	下水道事業費	80	現状のまま継続する
4	総務課	ふるさと納税寄附金事業	75	拡充する
5	情報推進課	行政デジタル化推進事業	85	現状のまま継続する
6	情報推進課	ケーブルテレビ事業（繰越分含む）	60	改善し継続する
7	企画課	企画調整事業	75	現状のまま継続する
8	地域創生課	定住促進事業	85	拡充する
9	地域創生課	地域振興事業	80	現状のまま継続する
10	地域創生課	商工業振興対策事業	80	現状のまま継続する
11	市民生活課	市民相談事業	70	拡充する
12	市民生活課	消費生活支援事業	80	現状のまま継続する
13	防災環境対策課	交通安全対策事業	80	現状のまま継続する
14	防災環境対策課	カーボンニュートラル推進事業	80	現状のまま継続する
15	防災環境対策課	ごみ減量化推進事業	90	現状のまま継続する
16	防災環境対策課	塵芥収集事業	75	現状のまま継続する

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
1	都市建設課	公営住宅維持管理事業	—	181

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・公営住宅の今後の整備計画について、長寿命化計画に基づく実施を確認した。 ・高層階の空き状況について確認した。高層階へのエレベーター設置について構造上費用面において難しいことを確認した。 ・設備の修繕について、市が設置したものと入居者が設置したもので、修繕範囲が決まることを確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	合併後、新規の公営住宅は建設されていないが、今後の高齢化社会に対応したバリアフリー（エレベーター等）の住宅整備を検討すべきではないか。 住宅の老朽化を見越し、早期の対策により改修費用の軽減を図るべきではないか。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
2	農林水産課	担い手育成基盤整備事業（繰越・事故繰越分含む）	—	148

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	15	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である	100点
	5 良好である	76～99点
	4 おおむね適正である	51～75点
	3 問題がある	26～50点
	2 かなり問題がある	1～25点
	1 不適正である	0点
		70

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・大雨被害や地震の影響により、事故繰越を確認した。 ・受益者負担分（5%分）については、集落営農等を立ち上げ、生産性の向上、高付加価値化を図ることにより、実質負担がなく整備できることを確認した。 ・農地の集積・集約化や生産性の向上は認めるものの、営農組合等の高齢化もあり、難しい問題であるが、今後の担い手育成、営農が継続できるよう検討を要する。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	農業者の高齢化は、深刻であり、農地の集積・集約化だけでは限界がある。昨今のコメ不足などを考えても、様々な対策が必要と考える。これは、市独自でできるものではなく、各種団体とも連携を図りながら取り組んでもらいたい。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
3	上下水道課	下水道事業費	—	180

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	15	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・下水道の敷設管等の点検について確認した。 ・繰出金のうち基準外繰出について確認した。 ・過去の料金改定、上下水道料金検討委員会の検討状況について確認した。 ・北部浄化センターの統合について、処理能力を確認し、今後のスケジュールの見込みについて確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	今後、可能な限り経費の節減に取り組み、料金を改定する際には、市民の理解を得る努力をお願いしたい。 上下水道施設の老朽化等により、事故の懸念がある。国に財源措置を含めた対策を関係団体とも連携しながら求めていくよう望むものである。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
4	総務課	ふるさと納税寄附金事業	—	36

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	25	15	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	75
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・返礼品の傾向について確認し、返礼品として希望のないものの取り扱いについて確認した。 ・令和5年度からの減少について、震災等の影響等を確認するとともに、代理寄付（災害支援）制度について確認した。 ・ポータルサイト等の手数料等について、5社の違いを確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
6	6 拡充する	特産品は、季節により片寄る傾向があるので、全国での先進的な取り組みを調査し、年間を通して安定的に出せる返礼品の拡充に期待するものである。 ふるさと納税は、市の知名度向上にもつながり、さらなる拡充を期待する。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
拡充する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
5	情報推進課	行政デジタル化推進事業	—	27

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	85
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・かほく市のデジタル化の現状（県内自治体との比較）について確認した。 ・電算機器の借り上げと購入についての比較（メリット・デメリット）について確認した。 ・デジタル化を進めることによる職員の負担について確認した。 ・電子申請の状況について確認し、市民サービスの向上につながっていることを確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	基幹系のシステムの標準化においては、自治体独自のサービスの提供等に影響がないように進めていただきたい。 デジタル化の推進により、市民サービスのさらなる向上、職員の負担軽減につながる業務改善に取り組んでいただきたい。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
6	情報推進課	ケーブルテレビ事業（繰越分含む）	—	28

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	15	15	15	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	60
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
- 今後の指定管理制度への移行、民営化についての考え方について確認した。 - 加入者について、震災の影響（公費解体）等により微減となったことを確認した。 - 災害時の情報発信としてのL字放送について確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
4	6 拡充する	災害時のケーブルテレビによる市民への緊急放送について、充実・強化に努めていただきたい。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	スマホ等による動画視聴等により、若者へのケーブルテレビの視聴は難しいが、ターゲットを絞ったコンテンツの工夫などを期待する。
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	自主チャンネルのさらなる魅力ある番組になるよう努力を求め
	1 休止・廃止する	
改善し継続する		る。

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
7	企画課	企画調整事業	—	21

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	75
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・企業版ふるさと納税の種類や用途について確認した。 ・企業版ふるさと納税を財源として購入した備品について確認した。 ・総合計画策定にかかるアンケート調査等の実施について確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	総合計画は、市としての最上位の計画であり、非常に重要な計画である。アンケート結果や課題を洗い出し、的確な計画策定を願う。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
8	地域創生課	定住促進事業	—	22

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	85
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・定住促進施策の投資分について、固定資産税等の増収などの効果について確認した。 ・中古住宅を対象とするなどの見直しは高く評価する。 ・奨学金支援制度について詳細を確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
6	6 拡充する	定住促進施策により全体では人口増となっているが、金津小学校、大海小学校校区は減少しており、地域の均衡な人口増施策の検討を願う。 市内企業に勤めている方の奨学金支援制度のPRの充実を願う。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
拡充する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
9	地域創生課	地域振興事業	—	23

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である	100点
	5 良好である	76～99点
	4 おおむね適正である	51～75点
	3 問題がある	26～50点
	2 かなり問題がある	1～25点
	1 不適正である	0点
		80

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・かほつくるの入場者数を確認した。 ・とり野菜みそブルーキャッツアリーナのオープニングイベント開催費用について確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	引き続き、「とり野菜みそブルーキャッツアリーナ」や「かほつくる」などの施設を活用した、賑わいの創出を期待する。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
	現状のまま継続する	

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
10	地域創生課	商工業振興対策事業	—	167

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内） ・ビジネスイノベーション補助金10件の内容、空き家情報の提供状況について確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	商工業振興助成事業補助金のPRの拡充を求める。 県内では企業撤退による補助金の返還等が問題となっている。 市の制度においても対策は必要ではないか。 市内企業の増設等は、雇用にもつながり、継続した取り組みを期待する。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
11	市民生活課	市民相談事業	—	30

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	15	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	70
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・法律相談の詳細について確認した。 ・必要性に応じて、法律相談の回数を増やしてもよいのではと思う。 ・地道な活動ではあるが、継続して行うことが大切であり、周知活動を強化することで詐欺等の抑止にもつながるのではないかと。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
6	6 拡充する	人権意識の向上は大切であり、今後も継続して取り組みを求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	ヘイトスピーチ（人種、民族、宗教、性別など、特定の属性に対し、個人または集団を攻撃、脅迫、侮辱する発言や言動のこと）対策の取り組みを求める。
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	振り込め詐欺等の防止のため、周知活動を含めた、対策強化を求める。
拡充する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
12	市民生活課	消費生活支援事業	—	31

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・消費者トラブルの概要について確認した。 ・啓発活動と消費者教育の取り組みについて、内容を確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	引き続き、消費生活サークルひだまりと連携し、効果的に取り組んでほしい。 振り込め詐欺等も増加傾向であり、若者への啓発を含め、継続的な取り組みを求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
13	防災環境対策課	交通安全対策事業	—	33

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	20	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・横断歩道や一時停止線などの白線が薄くなっている箇所の対応について確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	交通安全施設（カーブミラー・路面標示等）は大変重要であり、引き続き、町会区と連携を図りながら地域の要望に対応することを求める。 運転免許自主返納者への対策強化を求める。 防災・環境アプリの「住民レポート」の機能を広く市民に周知し、市民からの道路・交通安全施設等の問題点を投稿していただけるよう積極的に周知するよう求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
14	防災環境対策課	カーボンニュートラル推進事業	—	130

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である	100点
	5 良好である	76～99点
	4 おおむね適正である	51～75点
	3 問題がある	26～50点
	2 かなり問題がある	1～25点
	1 不適正である	0点
		80

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・生ごみ処理機器設置の導入効果や補助金制度について市民に解りづらいつと感じる。周知の方法を検討してほしい。 ・カーボンニュートラル推進の重要性は理解するが、取り組み内容や成果が市民に理解されていないのではないか。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	持続可能なエネルギー、地球温暖化防止に資する取り組みを強化し、市民の環境に対する理解と行動変容につながる新たな取り組みを求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
	現状のまま継続する	

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
15	防災環境対策課	ごみ減量化推進事業	—	131

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	25	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価



評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	90
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・リサイクルステーション（ビン・プラスチックゴミ）の取組状況を確認した。 ・資源物回収用具収納庫設置費補助金の内容について確認した。 ・ゴミステーションの設置状況について確認した。場所によってはゴミがあふれているところもあり、その対応について確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	ゴミステーションの設置されていない地域やアパートなどで、鳥などにより荒らされ、悪臭などの苦情を聞く。設置率100%を目指し、ゴミステーションへの移行、対策を推進してほしい。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 総務建設分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
16	防災環境対策課	塵芥収集事業	—	132

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	15	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	75
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内） ・ごみの収集運搬は、人件費の上昇、物価高騰による委託料の増加が見込まれることを確認した。
--

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	ごみの円滑な収集運搬は、非常に大切であり、委託料の増加を抑制するため、戸別収集地区のステーション化への移行や効率的な収集体制の見直しを求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

令和7年8月29日

予算決算常任委員会

委員長 丸井 一範 様

予算決算常任委員会

教育福祉分科会長 中川 康弘

議 会 に よ る 行 政 評 価 報 告 書

教育福祉分科会における審査が終了しましたので、「令和6年度決算に係る議会による行政評価」を添付の上、報告いたします。

記

1. 審査期日 : 6月20日 審査対象事業決定

8月4日 現場視察

①宇ノ気南部学童保育クラブ

②外日角第1.2学童保育クラブ・外日角第3.4学童保育クラブ

③高松第1.2学童保育クラブ（愛・遊・館）

④大海学童保育クラブ（大海交流センター内）

⑤金津学童保育クラブ（金津児童館内）

⑥宇ノ気第1.2学童保育クラブ

8月4日 教育部

（学校教育課、生涯学習課、スポーツ文化課）

8月5日 健康福祉部

（長寿介護課・健康福祉課・保険医療課・こども家庭課）

8月6日 審査対象事業の分科会まとめ

2. 審査方法 : これまでの「議会による行政評価」は、創生総合戦略推進計画の「事業成果個票」を活用し、議会として審査し、改善・拡充などの提言を行っていたが、今年度からは、すべての事業を審査対象とし、事業の抽出を行い実施した。

審査については〔必要性〕〔妥当性〕〔費用対効果〕〔成果〕を主眼に置き、執行部が作成した資料に基づき行政評価を実施した。

3. 審査結果 : 【個別事業】における今後の方向性について

【個別事業】

○小学校総合管理費（学校教育課）

- ・引き続き、必要な業務に人的な支援を行い、教職員の負担軽減につながるよう期待する。
- ・校内教育支援センターの取り組みにより、教室に入れない児童の支援は効果も出ており評価する。今後、ますます必要となる取り組みであり、学校現場と教育委員会が連携し、効果的な取り組みを期待する。

○学力向上対策事業（小学校・中学校）（学校教育課）

- ・学力調査については、調査結果を的確に分析し、今後の授業改善につなげていただきたい。今後の調査については、児童生徒の負担、教職員の負担等を考え、真に必要な調査を実施するよう望むものである。
- ・質問紙調査（i-check）を年1回から2回に増やしたとのことであるが、調査結果等に基づき、気になる子供を学校全体で情報を共有し、支援体制を整え、児童生徒の変化を早期に発見し、いじめや不登校を未然に防ぐことを期待する。

○外国語指導助手配置事業（学校教育課）

- ・外国語指導助手の配置による評価は、難しい部分はある。生徒や保護者の意見等を聞く限り総合的に成果は高いと判断している。何をもって成果がでていると判断するのか具体的な数値目標等について検討してもらいたい。

○学校を核とした地域力活性化事業（学校教育課）

- ・単に学校に地域の方々がいるのではなく、全ての子供たちが、健やかに成長を続け、それを地域の教育力が下支えするような取り組みを期待する。
- ・地域の方々への周知・広報活動を強化すべきではないか。

○図書館管理運営事業（生涯学習課）

- ・近年、本来の図書館としての役割を超え、カフェの設置など全国的にも、図書館の役割が多機能化している。今後は図書館機能を残しつつ、市民が集まる拠点として、どうあるべきか検討してはどうか。
- ・発達段階に応じた読書活動は評価できる。今後も引き続き、市民の多様なニーズに応えられるような取り組みを求める。
- ・情報通信技術の発達により書物の必要性が低下している。それに応じたレファレンス機能の充実を求める。

○かほく市スポーツコミッション推進事業（スポーツ文化課）

- ・「スポーツコミッションかほく」は設立されたばかりの団体であり、何をするとどこかとよく聞かれる。参加者も限られており、広く周知活動の強化を求める。
- ・各種団体と連携し、地域の活性化につながるよう、スポーツを通じた交流人口の増加に期待する。
- ・E-Bike の数が少ないのではないかと。周知を含め、必要に応じた事業展開を求める。

○高齢者等地域支え合い事業（長寿介護課）

- ・在宅介護を支えるケアマネジャーを含めた関係者と情報を共有し、真にサービスを必要とする高齢者にサービスが提供できるよう、引き続き、周知活動を含めた取り組みをお願いする。

○介護保険特別会計繰出金（長寿介護課）

- ・今後も、基準内の繰入を継続し、介護保険特別会計の適正化を図ってほしい。

○福祉タクシー利用助成事業（健康福祉課）

- ・福祉タクシー利用助成を継続して利用する場合の手続きについて、代理もしくは本人が来庁して手続きが必要とのことであるが、電子申請を含め、手続きの簡素化を検討してほしい。
- ・高齢者の福祉タクシー助成（長寿介護課）と障害者の福祉タクシー助成（健康福祉課）について、窓口をどちらかに一本化してはどうか。

○予防接種事業（健康福祉課）

- ・任意予防接種については、県内でも先進的に取り組んでいると聞いている。引き続き、医師会等とも連携しながら取り組んでいただきたい。

○健康づくり事業（健康福祉課）

- ・健康づくり事業は、将来的にも医療費の削減、介護予防につながるものであり、関係機関とも連携し、さらなる取り組みを期待する。
- ・地域の老人クラブへの出前講座を含め、ベジメータの積極的かつ有効活用を検討し、市民の食生活の改善につなげてほしい。

○成人・老人保健事業（健康福祉課）

- ・医療機関健診や休日・夜間検診など受診しやすい体制により、受診率が高いことは高く評価する。受診率の向上は、病気の早期発見、早期治療につながり、医療費の削減が期待できることから、引き続き、受診率の向上に向けた取り組みを期待する。
- ・75歳以上のがん検診について、大腸がん、子宮頸がん、乳がんの3つのがん検診の年齢上限を撤廃し、拡充したとのことであるが周知方法を徹底するとともに、がんは死因が一番高いことから、拡充について医師会等とも連携しながら拡充を検討してほしい。

○国民健康保険特別会計繰出金（保険医療課）

- ・県内でも一人当たりの医療費が高額となっている原因を分析し、関係部署等と連携を図りながら、医療費の抑制に取り組んでほしい。

○こども園一般管理費 + こども園運営費（こども家庭課）

- ・保育士の労働環境の改善について、DX 化の推進を図るとの説明であったが、保育士が子供と接する時間を確保するため、保護者対応や様々な事務をこなす人的配置も有効な手段と考える。
- ・市内の住宅環境等による人口増を把握することは難しいが、常にアンテナを高くし、施設の確保、職員の配置についての対策を検討してほしい。

○こども家庭センター事業（こども家庭課）

- ・核家族化の進展（家庭環境の変化）により、子育て支援の必要性が大きく変化し、市民のニーズも多様化している。その対応は、専門的であり難しい部分もあるが、引き続き、母親の気持ちに共感し、きめ細かな支援、相談業務をお願いする。

○学童保育クラブ一般管理費 + 学童保育クラブ運営費（こども家庭課）

- ・こども園と同様となるが、市内の住宅環境等による人口増を把握することは難しいが、常にアンテナを高くし、施設の確保、職員の配置についての対策を検討してほしい。
- ・現状の保育料や人的確保等を考えると、民間参入は厳しいと思われるが、検討してもよいのではないか。

4. まとめ

教育福祉分科会では、今回審査した内容は、子育て支援施策をはじめ、健康づくりへの取り組み、高齢者福祉施策など、これまでの取り組みを評価するとともに、より一層、市民のニーズや課題を的確に捉え、今後の事業展開にも期待するなど、概ね評価点が高い事業であった。

子育て支援施策での、こども園、学童保育クラブの運営について、保育士などの人的確保が喫緊の課題となっており、保育士や支援員が子供と向き合う時間が確保され、労働環境が改善されるよう、保護者対応や様々な事務をこなす人的配置を検討してはどうかと提案するものである。

健康づくり施策については、将来的にも医療費の削減、介護予防につながるものであり、各種検診事業の拡充を検討するとともに、検診結果に基づく、健康づくり事業への展開を期待するものである。

最後に、引き続き各種事業の創意工夫に期待するとともに、課題解決に向けた取り組みを検討するなど、時代に即した柔軟な発想と積極的な対応に期待する。

以上

予算決算常任委員会 教育福祉分科会
《令和6年度決算に係る議会による行政評価》
審査対象事業

No.	担当課	事業名	全体評価 合計	今後の方向性
1	学校教育課	小学校総合管理費	80	現状のまま継続する
2	学校教育課	学力向上対策事業（小学校・中学校）	75	現状のまま継続する
3	学校教育課	外国語指導助手配置事業	75	現状のまま継続する
4	学校教育課	学校を核とした地域力活性化事業	75	現状のまま継続する
5	生涯学習課	図書館管理運営事業	80	現状のまま継続する
6	スポーツ文化課	かほく市スポーツコミッション推進事業	70	改善し継続する
7	長寿介護課	高齢者等地域支え合い事業	80	現状のまま継続する
8	長寿介護課	介護保険特別会計繰出金	80	現状のまま継続する
9	健康福祉課	福祉タクシー利用助成事業	85	現状のまま継続する
10	健康福祉課	予防接種事業	85	現状のまま継続する
11	健康福祉課	健康づくり事業	80	現状のまま継続する
12	健康福祉課	成人・老人保健事業	85	現状のまま継続する
13	保険医療課	国民健康保険特別会計繰出金	80	現状のまま継続する
14	こども家庭課	こども園一般管理費 + こども園運営費	80	現状のまま継続する
15	こども家庭課	こども家庭センター事業	80	現状のまま継続する
16	こども家庭課	学童保育クラブ一般管理費 + 学童保育クラブ運営費	80	現状のまま継続する

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
1	学校教育課	小学校総合管理費	—	201

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・教員業務支援員の役割を確認した。 ・学務員、教員業務支援員、給食配膳員の配置による教職員の負担軽減について確認した。 ・教育支援センターの設置による効果を確認した。 ・教員の負担軽減について、時間外勤務が削減されていることを確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	引き続き、必要な業務に人的な支援を行い、教職員の負担軽減につながるよう期待する。 校内教育支援センターの取り組みにより、教室に入れない児童の支援は効果も出ており評価する。今後、ますます必要となる取り組みであり、学校現場と教育委員会が連携し、効果的な取り組みを期待する。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
2	学校教育課	学力向上対策事業（小学校・中学校）	—	205

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	15	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	75
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・国、県、市の学力調査について、経年比較による分析を行っていることを確認した。 ・学力調査について、事前の取り組みを実施しないよう各学校に通知していることを確認した。 ・質問紙調査（i-check）の内容を確認し、いじめ、不登校、家庭の学習状況などの把握ができるかどうか確認した。 ・英語アシスタントの配置について確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	学力調査については、調査結果を的確に分析し、今後の授業改善につなげていただきたい。今後の調査については、児童生徒の負担、教職員の負担等を考え、真に必要な調査を実施するよう望むものである。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	質問紙調査（i-check）を年1回から2回に増やしたとのことであるが、調査結果等に基づき、気になる子供を学校全体で情報を共有し、支援体制を整え、児童生徒の変化を早期に発見し、いじめや不登校を未然に防ぐことを期待する。
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
3	学校教育課	外国語指導助手配置事業	—	220

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	15	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	75
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・ 中学校に配置のALTをその校下の小学校に派遣（各学校年10時間）し、小中の連携を確認した。 ・ 教員とALTの連携について確認した。 ・ ネイティブな英語に触れることは、大変重要であると認識しているが、実際に中学生が外国人と会話ができるかどうか評価するのは難しいと感じた。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	外国語指導助手の配置による評価は、難しい部分はある。生徒や保護者の意見等を聞く限り総合的に成果は高いと判断している。何をもって成果がでていると判断するのか具体的な数値目標等について検討してもらいたい。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
4	学校教育課	学校を核とした地域力活性化事業	—	244

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	15	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	75
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・コミュニティ・スクールの各校の具体的な取り組みを確認した。 ・学校との連携を強化するため、令和6年度から学校教育課に事務を移管したとのことであった。 ・学校コーディネーターの役割を確認した。 ・コミュニティ・スクールプラン補助金について確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	単に学校に地域の方々がいるのではなく、全ての子供たちが、健やかに成長を続け、それを地域の教育力が下支えするような取り組みを期待する。 地域の方々への周知・広報活動を強化すべきではないか。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
5	生涯学習課	図書館管理運営事業	—	237

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
- 令和6年度の主な取り組みについて確認した。 - 電子図書購入等の推移について確認した。 - 古本市等の取り組みについて確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	近年、本来の図書館としての役割を超え、カフェの設置など全国的にも、図書館の役割が多機能化している。今後は図書館機能を残しつつ、市民が集まる拠点として、どうあるべきか検討してはどうか。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	発達段階に応じた読書活動は評価できる。今後も引き続き、市民の多様なニーズに応えられるような取り組みを求める。
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	情報通信技術の発達により書物の必要性が低下している。それに応じたレファレンス機能の充実を求める。
現状のまま継続する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
6	スポーツ文化課	かほく市スポーツコミッション推進事業	—	255

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	15	15

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
4	6 きわめて良好である 100点	70
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・スポーツコミッションの4つの柱「アウトドアスポーツ」「ビーチスポーツ」「サイクルスポーツ」「芝生スポーツ」の取り組み内容について確認した。 ・事業の参加者からの意見等（苦情含む）について確認した。 ・今後の新たな取り組みについて確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
4	6 拡充する	「スポーツコミッションかほく」は設立されたばかりの団体であり、何をするとどこかとよく聞かれる。参加者も限られており、広く周知活動の強化を求める。 各種団体と連携し、地域の活性化につながるよう、スポーツを通じた交流人口の増加に期待する。 E-Bikeの数が少ないのではないかと。周知を含め、必要に応じた事業展開を求める。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
改善し継続する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
7	長寿介護課	高齢者等地域支え合い事業	—	78

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・緊急通報システムの利用については、携帯電話の普及により減少傾向であることを確認した。 ・認知症見守りネットワーク事業の利用状況を確認した。 ・各種サービスにおける利用割合を確認し、認定者は増加しているが、利用者は減少傾向にある理由を確認した。 ・紙おむつ等の支給方法を確認した。 ・各種サービスの周知方法を確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	在宅介護を支えるケアマネジャーを含めた関係者と情報を共有し、真にサービスを必要とする高齢者にサービスが提供できるよう、引き続き、周知活動を含めた取り組みをお願いします。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
8	長寿介護課	介護保険特別会計繰出金	—	87

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・介護保険特別会計への繰出基準について確認した。 ・予算額と決算額の乖離について確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	今後も、基準内の繰入を継続し、介護保険特別会計の適正化を図ってほしい。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
9	健康福祉課	福祉タクシー利用助成事業	—	68

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	85
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・福祉タクシーの利用実績について確認した。 ・制度の周知方法について確認した。 ・対象者が増加しているが、利用者は減少しているとのことであり、その理由について確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	福祉タクシー利用助成を継続して利用する場合の手続きについて、代理もしくは本人が来庁して手続きが必要とのことであるが、電子申請を含め、手続きの簡素化を検討してほしい。 高齢者の福祉タクシー助成（長寿介護課）と障害者の福祉タクシー助成（健康福祉課）について、窓口をどちらかに一本化してはどうか。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
10	健康福祉課	予防接種事業	—	120

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	85
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・ 予防接種の種類、内容等について確認した。 ・ 事業費の増加理由について確認した。 ・ 新型コロナワクチンの使用期限切れによる廃棄の状況について確認した。 ・ 新型コロナワクチン接種による健康被害の状況について確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	任意予防接種については、県内でも先進的に取り組んでいると聞いている。引き続き、医師会等とも連携しながら取り組んでいただきたい。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
11	健康福祉課	健康づくり事業	—	122

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・健康づくり事業の各種の取り組みについて確認した。 ・健康ポイント事業のポイント還元金額について確認した。 ・新規の事業である総合体育館での働く世代運動促進事業の内容について確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	健康づくり事業は、将来的にも医療費の削減、介護予防につながるものであり、関係機関とも連携し、さらなる取り組みを期待する。 地域の老人クラブへの出前講座を含め、ベジメータの積極的かつ有効活用を検討し、市民の食生活の改善につなげてほしい。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
12	健康福祉課	成人・老人保健事業	—	124

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	25	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	85
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
- 生活習慣予防事業の内容を確認した。 - 各種検診事業の内容を確認した。 - がん患者補正具等購入費助成について確認した。 - 健康診断・がん検診の案内チラシについて、高齢者にも見やすい色に変更を願う。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	医療機関健診や休日・夜間検診など受診しやすい体制により、受診率が高いことは高く評価する。受診率の向上は、病気の早期発見、早期治療につながり、医療費の削減が期待できることから、引き続き、受診率の向上に向けた取り組みを期待する。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	75歳以上のがん検診について、大腸がん、子宮頸がん、乳がんの3つのがん検診の年齢上限を撤廃し、拡充したとのことであるが周知方法を徹底するとともに、がんは死因が一番高いことから、拡充について医師会等とも連携しながら拡充を検討してほしい。
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
13	保険医療課	国民健康保険特別会計繰出金	—	89

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である	100点
	5 良好である	76～99点
	4 おおむね適正である	51～75点
	3 問題がある	26～50点
	2 かなり問題がある	1～25点
	1 不適正である	0点
		80

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・国保特別会計への繰出し基準について確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	県内でも一人当たりの医療費が高額となっている原因を分析し、関係部署等と連携を図りながら、医療費の抑制に取り組んでほしい。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
	現状のまま継続する	

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
14	こども家庭課	こども園一般管理費 + こども園運営費	—	104

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・幼児造形事業、育児担当制保育の内容を確認した。 ・会計年度職員の人件費増を確認した。 ・民間誘致の検討状況を確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	保育士の労働環境の改善について、DX化の推進を図るとの説明であったが、保育士が子供と接する時間を確保するため、保護者対応や様々な事務をこなす人的配置も有効な手段と考える。 市内の住宅環境等による人口増を把握することは難しいが、常にアンテナを高くし、施設の確保、職員の配置についての対策を検討してほしい。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
15	こども家庭課	こども家庭センター事業	—	108

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である 100点	80
	5 良好である 76～99点	
	4 おおむね適正である 51～75点	
	3 問題がある 26～50点	
	2 かなり問題がある 1～25点	
	1 不適正である 0点	

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・ こども家庭センターの業務（事業）内容を確認した。 ・ 相談者の内訳について確認し、児相案件についての流れを確認した。 ・ NP（ノーバディーズ・パーフェクト）事業（子どもをもつ親を対象に、参加者がそれぞれに抱えている悩みや関心のあることをグループで出し合って話し合いながら、自分にあった子育ての仕方を学ぶもの）について確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	核家族化の進展（家庭環境の変化）により、子育て支援の必要性が大きく変化し、市民のニーズも多様化している。その対応は、専門的であり難しい部分もあるが、引き続き、母親の気持ちに共感し、きめ細かな支援、相談業務をお願いする。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
現状のまま継続する		

《令和6年度決算に係る議会による行政評価》

分科会名：	予算決算常任委員会 教育福祉分科会
-------	-------------------

No.	担当課	事業名	前年度評価	事業番号
16	こども家庭課	学童保育クラブ一般管理費 + 学童保育クラブ運営費	—	109

1 項目別評価

	(1) 必要性	(2) 妥当性	(3) 費用対効果	(4) 成果
評価点	20	20	20	20

※評価基準に基づき、点数入れる。

項目別評価 (1) + (2) + (3) + (4)

2 全体評価

↓

評価	評価基準	合計評価点
5	6 きわめて良好である	100点
	5 良好である	76～99点
	4 おおむね適正である	51～75点
	3 問題がある	26～50点
	2 かなり問題がある	1～25点
	1 不適正である	0点
		80

3 全体評価コメント

決算審査における確認事項、市をとりまく状況・評価の補足・修正理由など（300字以内）
・学童保育クラブの各施設を視察し、思ったほど格差がなく安心した。 ・おやつ代について、保育料に含まれていることを確認した。

4 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由など（400字以内）
5	6 拡充する	こども園と同様となるが、市内の住宅環境等による人口増を把握することは難しいが、常にアンテナを高くし、施設の確保、職員の配置についての対策を検討してほしい。 現状の保育料や人的確保等を考えると、民間参入は厳しいと思われるが、検討してもよいのではないかと。
	5 現状のまま継続する	
	4 改善し継続する	
	3 見直しのうえ縮小する	
	2 縮小する	
	1 休止・廃止する	
	現状のまま継続する	